＝ Match Report ＝

平成30年度 栃木県高校総体兼第61回 関東高等学校サッカー大会県予選会

準決勝

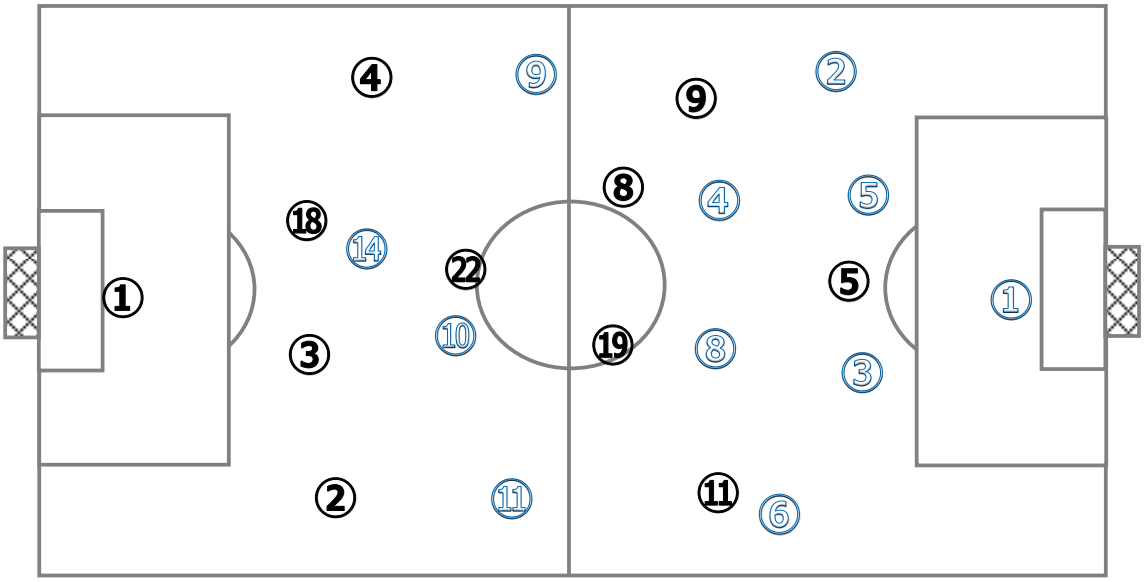
2018 年 5 月 12 日 (土) 10:30 kick off 会場(栃木県グリーンスタジアム)

宇都宮短期大学附属 . vs 宇都宮

宇都宮短期大学附属		宇都宮
6	3 - 0	0
	3 - 0	
	-	
	-	
	PK	

宇都宮短期大学附属
基本システム 1 － 4 － 5 － 1

宇都宮高校
基本システム 1 － 4 － 4 － 2



【Match Report】

準決勝第一試合，ノーシードの宇短大附属高校とシードの宇都宮高校の対戦となった。関東大会出場の掛かった大事な1戦である。芝の状態は良好で準決勝にふさわしいピッチコンディションである。システムは宇短附1－4－1－4－1，宇都宮は1－4－4－2でスタートした。お互いポゼッションしていくスタイルで球際で負けないDF力が目立ち，両チーム体を張った入り方である。宇短附はFW⑤谷にボールを集めてからサイドに展開して攻める。前半8分宇都宮高校のパスミスから宇短附MF⑪中村がゴール右上に決めた。対する宇都宮は距離感の良いパスワークから相手DFを中と外と的を絞らせないように分散させて，外からも中からも崩していく。先制点を決めた宇短附がリズムに乗り，DFの安定感も出てボールが繋がるようになり，宇都宮ゴールに再三迫った。前半18分左サイドMF⑨関本がDF③佐藤のロングフィードを受け，そのまま左サイドからゴールに向かうドリブルシュートでゴール右下に流し込んで2点目を決めた。宇都宮はボールを動かしながら左MF⑪手塚のサイド攻撃や，FW⑭陣内を起点にしてシャドーストライカーFW⑩岸を使っての攻撃で宇短附ゴールを目指した。前半35分宇短附右サイドからMF⑲清村がドリブルで深くまで運んでからセンタリングを上げてFW⑤谷が合わせて3点目。宇短附が優位にゲームを進めて前半が終了した。

迎えた後半，宇都宮は選手を交代し反撃に出た。しかし，宇短附は後半8分左サイドからのFKをMF⑧長谷川が蹴り，中の選手たちが合わせに行ったが，誰もさわれず，ボールはゴールに吸い込まれて4点目。宇都宮が体力的に疲れてきた所を後半19分宇短附がショートカウンターから左サイドをDF④渡辺がドリブルで仕掛けて速いグラウンダーのパスをGKとDFの間に入れてFW⑩中山が押し込んで5点目。攻めるために前掛かりになっていた宇都宮を後半39分宇短附がスルーパスを受けたFW⑩中山がドリブルでGKと1対1になり，左に流し込んで6点目を取り，ダメを押して試合終了した。

2年連続で関東大会を決めた宇短大附属高校は攻守のバランスが良く，ボールポゼッション率も高く終始試合を支配していた。明日の決勝も楽しみである。敗れた宇都宮は攻撃のリズムがうまく出せずに終わったことが惜しまれる。次のインターハイ予選に向けて再出発してもらいたい。

記載責任者 所属(宇都宮南高校) 氏名(手塚 直也)